

平成27年度



赤木っ子だより

平成28年2月10日 No.33 文責 校長 橋本忠秋

《教育目標》

『豊かな心と自ら学ぶ力をそ
なえた、たくましい児童の育成』
あ 明るく元気な子ども
か 考えて行動する子ども
ぎ 気力ある子ども



「第1回オーケストラフェスティバル」開催

2月7日(日)に郡山市民文化センターにおいて、「第1回オーケストラフェスティバル」が開催されました。市内小中学校の中で、管弦楽編成で合奏祭等に参加している学校が集っての演奏会です。

演奏メンバーは5年生と4年生で、1曲目は、コンクール参加曲の「エグモント」序曲 作品84、2曲目は「アイスキャッスルのテーマ」でした。落ち着いて堂々と演奏している姿が頼もしく新鮮でした。

また、5年生は他校との合同演奏にも参加し、「ハンガリー舞曲第5番ト短調」と「ハンガリー舞曲第6番二長調」を披露するなど、大活躍でした。新年度の成長が楽しみです。

よ
る
学
校
紹
介



右
は
代
表
児
童
に

今回の参加にあたって、武田PTA会長様には車持ち込みで、往復の楽器輸送を全面的に協力いただきました。併せて、保護者の方々には、児童の送迎に協力いただきました。皆様方に支えられて参加することができました。どうもありがとうございました。

藤澤教諭を始めとする特設合奏部担当7名と学校待機等を含めた2名が、朝から夕方まで保護者の皆様とともに対応しました。

「平成27年度郡山市公立学校教職員研究物展：入選」

本校教職員が、4月から研修主任(豊田教諭)を中心に取り組んできました校内研修の実践をまとめて研究物展に出品しましたところ、めでたく「入選」を受賞することができました。

今年の研究主題は、『自ら学び、考えを言える子どもの育成』、そして「言葉の力を育てる活用学習を通して」を副主題に実践を重ねてきました。全員が授業を公開し、放課後に授業について協議しました。当然良いところだけでなく、改善点についても意見を交わし、次からの授業に生かしていきます。授業力や指導力を高めるには、欠かすことのできない取り組みです。いつも前向きに自己研鑽に励んでいる教職員を誇りに思います。

「食と農に関する写真・川柳・絵画コンクール表彰式」

2月6日(土)に市役所本庁舎 正庁で表彰式がありました。絵画の部「郡山市長賞：1年内田さん」、川柳の部「優秀賞：2年長崎君」、写真の部「優秀賞：赤木小」(撮影者岡部教諭)、川柳の部「学校奨励賞：赤木小」と多くの賞をいただきました。これも子ども達の頑張りがあったからです。



「お待たせしました!!」

- 1 体育館の耐震化工事が完了しましたので、使用を再開します。
- 2 工事に伴い登下校通学路として禁止していましたが、体育館脇の坂道は、15日(月)から以前のように通学路に戻します。

「平成28年度入学児童保護者説明会」2/3(水)

保護者説明会の中で使用しました資料の一部をご紹介します。子育てにいかしていただければ幸いです。

「子は親の鏡」

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

(ドロシー・ロー・ノルト)

